

3. 2. 常設展

3. 2. 1. 第1期常設展

平成21年4月21日（火）～7月12日（日）

（常設展示室 2 前期：6月7日（日）まで・後期：6月9日（火）から）

■常設展示室 1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 東西の画壇

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	高山辰雄	鶉	1955	67.0×92.5	紙本着色	
2	橋本関雪	江城晚帰図	不詳	162.5×52.0	絹本着色	
3	福田平八郎	羅漢寺	1916頃	134.0×54.0	紙本着色	
4	福田平八郎	紅梅	1941頃	54.5×39.2	紙本着色	
5	福田平八郎	鮎	1958	48.5×75.5	紙本着色	寄託品
6	横山大観	後赤壁	1902	167.3×70.7	絹本着色	
7	高山辰雄	湯泉	1934	244.0×187.0	絹本着色	(財)大分県教育 会館寄贈
8	高山辰雄	黒いもんぺ	1944	174.2×70.6	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
9	高山辰雄	赤い服の女	1950	49.4×57.6	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
10	高山辰雄	夕	1955	64.5×93.7	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
11	高山辰雄	青い空	1957	41.2×57.9	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
12	高山辰雄	山の音	1958	60.5×92.4	紙本着色	
13	高山辰雄	山	1959	43.4×57.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
14	高山辰雄	花	1964	100.0×65.2	紙本着色	寄託品
15	高山辰雄愛用	筆・岩絵具・コンテ等				高山由紀子氏寄贈
16	高山辰雄	豊後里道に月を見る	2005	153.8×100.0	紙本金砂子墨画	
17	高山辰雄	少女	1992	100.0×75.5	紙本着色	
18	高山辰雄	丘の上	1973	134.0×215.0	紙本着色	
19	高山辰雄	雲煙に飛翔	2001	174.2×727.2	紙本金砂子墨画	
20	大森運夫	ロマネスクの祭壇	1969	52.2×71.8	紙本着色	高山淳吉氏寄贈
21	土屋礼一	沼	1991	175.0×220.0	紙本着色	
22	平山郁夫	緑韻富貴寺	1997	169.2×361.6	紙本着色	
23	伊藤深游木	流れる	1991	220.0×161.0	紙本着色	
24	後藤純男	北国山頂	1963頃	72.8×91.0	紙本着色	
25	千住 博	ホーラ (Horus)	1991	162.1×227.3	紙本着色	
26	田淵俊夫	刻	1992	338.0×165.0	紙本着色	
27	岩澤重夫	響	1988	191.0×168.0	紙本着色	
28	岩澤重夫	由布岳	不詳	65.0×91.0	紙本着色	
29	福田平八郎	白梅	1923	145.6×42.5	絹本着色	
30	幸松春浦	雨情	1954	136.0×123.5	紙本着色	
31	首藤雨郊	秋庭	1938	160.8×186.2	絹本着色	
32	竹内浩一	唯	1993	各160.0×420.0	紙本着色	
33	上村淳之	月の水辺	1990	146.0×227.0	紙本着色	
34	上村淳之	風渡る	1992	160.0×228.0	紙本着色	

35	正井和行	雨後	1997	210.0×140.0	紙本着色	
36	渡辺信喜	林檎	1985	167.5×184.6	紙本着色	
37	箱崎睦昌	冬山	1984	182.0×195.0	紙本着色	
38	福田平八郎	鯉	1943頃	48.0×72.0	絹本着色	
39	福田平八郎・ 金島桂華	無花果 紅葉	1940代後半	縦24.5上弦50.5	紙本着色	個人蔵
40	福田平八郎	水仙	不詳	31.0×24.5	紙本着色	個人蔵
41	福田平八郎	紋鷄	不詳	30.0×23.0	紙本着色	個人蔵
42	富田溪仙	歳寒四友	不詳	137.0×35.0	紙本着色	
43	福田平八郎	紅白梅	1940代後半	31.5×48.5	紙本着色	
44	金島桂華	芥子	不詳	46.0×53.0	紙本着色	藤原文子氏寄贈
45	南 聡	大潮	1996	180.0×360.0	紙本着色	
46	露木恵子	雲に乗って(鉦豆)	2008	194.0×162.0	紙本着色	露木恵子氏寄贈

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ展示（前期）帆足杏雨

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	帆足杏雨	清溪書屋図	1829	109.2×38.5	紙本墨画淡彩	
2	帆足杏雨	四時花鳥図巻	1830	18.3×148.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
3	帆足杏雨	山静日長図	1831	102.2×42.6	絹本墨画淡彩	寄託品
4	帆足杏雨	梅溪曉艫図	1834	158.5×45.0	紙本墨画淡彩	
5	帆足杏雨	浅絳山水図	1835	123.0×50.5	絹本墨画淡彩	
6	帆足杏雨	松陰自適図	1837頃	143.3×52.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
7	帆足杏雨	設色花鳥図	1841	115.8×35.5	絹本墨画着色	
8	帆足杏雨	風雨渡航図	1845	147.8×40.5	紙本墨画淡彩	
9	帆足杏雨	老圃秋容図	1848	154.8×57.2	絹本墨画着色	
10	帆足杏雨	南山松柏図	1851	130.2×50.4	絹本墨画淡彩	
11	帆足杏雨	曲水流觴巻	1851頃	23.4×168.1	絹本着色	帆足市太氏寄贈
12	帆足杏雨	松竹梅書画貼交屏 風（一双のうち）	1864	各141.6×326.6	紙本墨画・紙本 墨書	帆足市太氏寄贈
13	帆足杏雨	峻嶺飛泉図・霜林 晚靄図	1865	各173.0×52.0	絹本墨画淡彩・ 絹本墨画	
14	田能村竹田・ 帆足杏雨	書状	1825他	24.3×614.8	紙本墨書	重要文化財
15	田能村竹田	秋溪間適図	1832	176.4×48.0	紙本淡彩	重要文化財
16	高橋草坪	鉄騎横行図	江戸時代後期	33.0×26.0	板 墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
17	篠崎小竹	篠崎小竹咏史	江戸時代後期	143.9×57.3	紙本墨書	帆足市太氏寄贈
18	頼山陽	頼山陽詩書	1829	130.9×37.2	絹本墨書	帆足市太氏寄贈
19	浦上春琴	花鳥図	1829	130.9×37.2	絹本着色	帆足市太氏寄贈
20	中林竹洞	烟江疊嶂図	1829	130.9×37.2	絹本墨画	帆足市太氏寄贈

テーマ (後期) 生誕200年 平野五岳Ⅲ

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
	(資料)	平野五岳七十歳肖像	1903		絹本印刷	
1	平野五岳	松谿書屋図	1854	145.5×38.4	絹本墨画淡彩	
2	平野五岳	春山溪閣図	1856	114.1×36.0	絹本墨画淡彩	
3	平野五岳	溪閣読書図	1857	183.1×48.3	紙本墨画	
4	平野五岳	暮山竹林図	1860	139.0×45.0	紙本墨画	
5	平野五岳	松林山水図	1861	127.7×41.9	絹本墨画淡彩	
6	平野五岳	白雲紅樹図	1862	125.2×41.7	絹本墨画淡彩	
7	平野五岳	雪中山水図	1867	174.5×67.0	絹本墨画	
8	平野五岳	柳陰帰漁図	1871頃	147.0×51.5	絹本墨画淡彩	
9	平野五岳	松林山水図	1872	159.0×52.0	絹本墨画	
10	平野五岳	月下孤蓬図	1876	142.8×41.9	絹本墨画淡彩	
11	平野五岳	松林山水図	1880	151.2×60.0	絹本墨画	
12	平野五岳	富嶽図	1880	167.3×83.4	絹本墨画	
13	平野五岳	松竹梅図	1882	134.0×56.0	絹本墨画淡彩	
14	平野五岳	雪仏図	1882頃	131.4×50.6	絹本墨画	
15	平野五岳	翠巖飛泉図 (対幅)	1884	各225.1×50.9	絹本墨書・絹本墨画	
16	田能村竹田	四季花鳥図 (夏図)	1809	130.2×60.7	絹本着色	重要文化財
17	帆足杏雨	秋景山水図	1837頃	128.0×59.2	紙本淡彩	

■常設展示室3 近代・現代の洋画

テーマ 大分の美術グループの作家たち

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	油野誠一	デソリヤの街	1953	181.8×259.1	油彩・キャンバス	油野誠一氏寄贈
2	神田千里	風吹く日	1954	90.9×65.2	油彩・キャンバス	神田昌子氏寄贈
3	神田千里	連鎖する形	1982	112.1×145.5	油彩・キャンバス	
4	広瀬通秀	モニュメント	1980	181.8×227.3	油彩・キャンバス	
5	広瀬通秀	みのりA	1949	116.7×90.9	油彩・キャンバス	広瀬通秀氏寄贈
6	菅 久	崇高	1969	65.0×65.0	油彩・キャンバス	菅久氏寄贈
7	脇 正人	家	1958	80.3×116.7	油彩・キャンバス	脇正人氏寄贈
8	脇 正人	作品C	1970	112.1×145.5	油彩・キャンバス	脇正人氏寄贈
9	脇 正人	89作品(6)	1990	130.0×130.0	油彩・キャンバス	脇正人氏寄贈
10	脇 正人	コンポジションB	1986	145.5×112.1	油彩・キャンバス	
11	脇 正人	1996(A)	1996	130.3×130.3	油彩・キャンバス	脇正人氏寄贈
12	菅 久	夕紅	2001	181.8×227.3	油彩・キャンバス	
13	菅 久	作品A(黒い花)	1953	60.6×45.5	油彩・キャンバス	菅久氏寄贈
14	菅 玲子	行水	1955	80.3×60.6	油彩・キャンバス	菅玲子氏寄贈
15	菅 玲子	バスストップ	1976	162.1×130.3	油彩・キャンバス	
16	矢岡 勲	車による(A)	1962	162.1×130.3	油彩・キャンバス	矢岡勲氏寄贈
17	江藤 明	MY SPACE	1981	194.0×194.0	油彩・キャンバス	

18	井上佐之助	マイスペース 79	1979	43.8×62.8	紙版	首藤政美氏寄贈
19	井上佐之助	マイスペース 80	1980	45.0×63.5	段ボール版	首藤政美氏寄贈
20	新名隆男	風景	2004	70.0×40.0×20	アクリル	新名隆男氏寄贈
21	児玉成弘	街角 1987-1	1987	181.8×227.3	油彩・キャンパス	児玉成弘氏寄贈
22	十時 良	地表の風 94-6	1994	162.1×162.1	木炭・和紙・アル ミホイル他	十時良氏寄贈
23	三浦 勉	荊の塔	1958	150.3×61.0	油彩・板	三浦勉氏寄贈
24	渡辺恭英	莫	2000	192.5×222.5	アクリル・板	渡辺恭英氏寄贈

■常設展示室 4 竹工芸

テーマ 竹のある情景

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	生野祥雲斎	重扇吊華籃	1962頃	高30.8 32.0 ×15.0	竹、籐	
2	生野祥雲斎	紫竹盛籃銘此君	1965頃	高16.0 40.0 ×26.4	竹、籐	
3	生野祥雲斎	紫竹荒編華籃久寿玉Ⅰ	1964	高43.0 径 63.0	竹、籐	
4	生野祥雲斎	紫竹荒編華籃久寿玉Ⅱ	1964	高43.0 径 63.0	竹、籐	
5	生野祥雲斎	紫竹荒編華籃久寿玉Ⅲ	1964	高43.0 径 63.0	竹、籐	
6	安倍 基	波の光	2002	103.0×74.0	竹、木	
7	生野徳三	水煙	2001	高56.0 径 36.0	竹、籐	
8	下田和泉	風炉先屏風「重ね菱」	1990	39.0×186.0× 4.5	竹、木	

3. 2. 2. 第2期常設展

平成21年9月25日～平成22年1月12日

(常設展示室2 前期：11月15日(日)まで、後期：11月17日(火)から)

■常設展示室1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 大分の近代日本画—明治から昭和前期を中心に— (常設展示室1・2)

1. 平八郎と高山辰雄 そして終後へ

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・素材	備考
1	松本古村・ 福田平八郎他	十四花草果菜の図	1922	51.8×180.0	絹本着色	大分市立荷揚町小学校蔵
2	福田平八郎	羅漢寺	1916頃	134.0×54.0cm	紙本着色	
3	福田平八郎	竹	1942頃	縦26.3上弦51.5	紙本着色	個人蔵
4	福田平八郎	鯉	1943頃	48.0×72.0	絹本着色	
5	福田平八郎	鮎	不詳	26.2×23.6	紙本着色	
6	福田平八郎	冬日	1945頃	39.5×53.5	紙本着色	
7	福田平八郎	蜜柑	1956頃	45.5×60.6	紙本着色	
8	福田平八郎	桃	不詳	29.6×37.5	紙・パステル	個人蔵
9	福田平八郎	水仙	不詳	31.0×24.5	紙本着色	個人蔵
10	高山辰雄	唐詩選 鹿柴	1968	画35.5×54.5 書55.8×38.0	リトグラフ	
11	高山辰雄	唐詩選 旅夜書懷	1968	画33.8×52.5 書55.8×38.0	リトグラフ	
12	高山辰雄	唐詩選 西宮秋怨	1968	画36.0×54.0 書55.8×38.0	リトグラフ	
13	高山辰雄	唐詩選 玉華宮	1968	画36.3×54.3 書55.8×38.0	リトグラフ	
14	高山辰雄	唐詩選 黃鶴樓	1968	画36.3×54.3 書55.8×38.0	リトグラフ	
15	高山辰雄	唐詩選 送人還京	1968	画33.5×51.8 書55.8×38.0	リトグラフ	
16	高山辰雄愛用	筆・岩絵具・コンテ等				高山由紀子氏寄贈
17	高山辰雄	紫陽花の頃	1941	125.0×41.0	絹本着色	
18	高山辰雄	立春	1937	42.8×56.8	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
19	高山辰雄	壺	1943	129.9×75.9	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
20	高山辰雄	白鷺	1939頃	各167.7×371.4	紙本墨画	
21	高山辰雄	坂道	1948頃	47.8×51.0	絹本着色	
22	高山辰雄	冬瓜	1952	51.5×70.0	絹本着色	
23	高山辰雄	赤いセーター	1952	70.5×57.1	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
24	高山辰雄	赤い服の女	1950年	122.2×75.0	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
25	高山辰雄	子	1950	122.2×75.0	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
26	高山辰雄	夕	1951	69.5×87.8	絹本着色	
27	高山辰雄	沼にうつる	1955	48.5×72.6	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
28	高山辰雄	朝	1973	60.6×90.9	紙本着色	個人蔵
29	幸松春浦	雨情	1954	136.0×123.5	紙本着色	
30	幸松春浦	小禽図	不詳	48.8×54.1	紙本着色	橋本祥案氏寄贈

31	正井和行	魼	1971	161.0×220.0	紙本着色	
32	正井和行	発掘	1992	190.0×160.0	紙本着色	
33	岩澤重夫	山麓	不詳	46.0×50.0	絹本着色	藤原文子氏寄贈
34	朝倉 撰	婦人像	不詳	40.0×30.0	麻本着色	

2. 江戸時代末～昭和戦前期 大分の南画家達

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・素材	備考
35	田能村竹田	四季花鳥図 (夏図)	1809	130.2×60.7	絹本着色	～11月15日まで
35	田能村竹田	四季花鳥図 (秋図)	1809	130.2×60.7	絹本着色	11月17日～
36	帆足杏雨	秋景山水図	天保年間	128.0×59.2	紙本墨画淡彩	
37	帆足杏雨	粉團鳳仙戯鳥図	江戸時代後期	147.2×57.1	紙本着色	重要文化財 ～11月15日まで
37	帆足杏雨	梅花山茶花群雀図	江戸時代後期	147.2×57.1	紙本着色	重要文化財 11月17日～
38	甲斐虎山	高松雙露図	不詳	180.8×94.6	紙本着色	
39	加納雨篷	淡彩山水図	1925	155.8×36.2	絹本墨画淡彩	
40	白須心華	春景山水	1913	135.5×51.0	絹本着色	藤原文子氏寄贈
41	田能村直入	花卉図 (紅梅)	1933	107.5×31.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
42	田能村直入	瀛州図	1838	40.1×227	紙本墨画	寄託品
43	田能村直入	四季山水図 (棕湖秋月)	1884	196.5×84.8	紙本着色	
44	秦 米陽	寒林独坐図	1927	128.0×42.0	絹本着色	浦邊宗紀氏寄贈
45	田近竹邨	寒柯帰漁図	1921	128.5×88.5	絹本墨画淡彩	
46	田近竹邨	題石図・樹下一夢図 屏風	1897	各173.5×185.6	紙本着色	帆足市太氏寄贈
47	田近竹邨	松林飛鶴図	1896	128.0×42.5	紙本着色	
48	田近竹邨	桐陰遺興図	1917	170.0×52.0	絹本着色	藤原文子氏寄贈
49	草刈樵谷	春山烟雨図	不詳	135.0×33.0	紙本着色	藤原文子氏寄贈
50	草刈樵谷	竹田荘雅会図	1948	22.6×117.6	紙本着色	
51	幸松春浦	牧童吹笛図	1930年代	84.8×99.8	絹本着色	
52	幸松春浦	深山雲烟図	1930年代	84.5×99.8	絹本墨画淡彩	
53	幸松春浦	雨後鷓鴣図	1927	142.5×51.5	絹本着色	
54	幸松春浦	老子	1936	237.2×117.0	紙本墨画淡彩	
55	河村李軒	疎林秋晚図	1945頃	45.0×51.4	絹本着色	浦邊宗紀氏寄贈
56	幸松春浦	江南晚秋図屏風	1920	各137.6×354.2	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・南画 (文人画) 富春館記念室

テーマ 大分の近代日本画—明治から昭和前期を中心に— (常設展示室1・2)

3. 大正期～昭和戦前期 大分中学・大分県師範学校等ゆかりの作家達

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・素材	備考
57	松本古村	山中高士図	不詳	128.5×50.5	絹本着色	浦邊宗紀氏寄贈
58	松本古村	風雨渡船図	1930	154.0×145.5	絹本着色	

59	高倉観崖	長江春嵐・空山凍雲	1936	各143.0×28.0	絹本墨画淡彩	
60	牧 皎堂	鶴	不詳	111.0×40.6	絹本着色	
61	福田平八郎・高倉観崖・牧皎堂	漁村珍味之図	大正時代後期	147.0×42.6	絹本着色	
62	首藤雨郊	山村の冬	大正～昭和初期頃	129.7×42.2	絹本着色	個人蔵
63	首藤雨郊	村の秋晴れ	1930	227.0×186.0	紙本着色	首藤晃氏寄贈
64	首藤雨郊	稚児焚火図	1936	135.3×166.1	紙本着色	個人蔵
65	首藤雨郊	夢中問答	1937	54.4×34.0	紙本着色	個人蔵
66	福田平八郎	蜜柑の花	1937	21.0×33.8	紙本着色	個人蔵
67	本廣 禮	水辺風景	不詳	135.3×166.1	紙本着色	個人蔵
68	松永冠山、小林観爾、福田平八郎	果菜図	1921頃	120.0×40.6	絹本着色	
69	福田平八郎	白梅	1923	145.6×42.5	絹本着色	
70	福田平八郎	緑竹小禽	1926頃	126.7×30.8	紙本着色	寄託品
71	福田平八郎	猫	大正時代中期	115.8×55.7	絹本着色	個人蔵
72	福田平八郎	光雪	1933頃	134.5×42.0	紙本着色	
73	福田平八郎	鮎	1934頃	43.6×64.5	絹本着色	個人蔵
74	福田平八郎	鯉	1943頃	43.2×87.2	絹本着色	
75	福田平八郎	雉子	1938	134.0×42.2	絹本着色	
76	福田平八郎関連資料 装画本他					
77	首藤雨郊関連資料 下図・スケッチ類					

関連記事 「深いきずな 『31歳の死』本広礼に贈った作品公開」『大分合同新聞』夕刊 9月24日

「早世した安心院町の日本画家・本広礼 制作日誌見つかる」『大分合同新聞』夕刊 1月21日

■常設展示室3 近代・現代の洋画

テーマ 戦後大分の美術 新たな出発－権藤種男を中心に－

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・素材	備考
1	権藤種男	百合と蜻蛉	1926	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
2	権藤種男	金魚	1926頃	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
3	権藤種男	百合	1927	44.0×51.0	油彩・キャンバス	個人蔵
4	権藤種男	鮎	1927頃	23.0×51.0	油彩・板	個人蔵
5	権藤種男	魚	1929頃	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
6	権藤種男	チューリップ	1929頃	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
7	権藤種男	果物	1929頃	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
8	権藤種男	河豚	1929	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
9	権藤種男	桜並木	1930	45.0×58.0	油彩・キャンバス	個人蔵
10	権藤種男	牡丹	1930	15.0×21.5	油彩・紙	個人蔵
11	権藤種男	福寿草と水仙	1932	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
12	権藤種男	親子	1932	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
13	権藤種男	母子	1935	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
14	権藤種男	女性像	1936	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵

15	榎藤種男	鮎	1936頃	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
16	榎藤種男	静物	1941	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
17	榎藤種男	女性像	1941	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
18	榎藤種男	牡丹と蝶	1941頃	27.0×24.0	紙本着色	個人蔵
19	榎藤種男	瓦礫の街	1945頃	28.5×37.5	油彩・キャンバス	宮本克子氏寄贈
20	榎藤種男	高崎山遠望	不詳	27.0×38.0	油彩・キャンバス	
21	榎藤種男	女性像	1947頃	32.0×22.5	油彩・板	
22	榎藤種男	鯉	1950頃	115.0×33.0	紙本着色	
23	榎藤種男	遊鯉	不詳	65.0×80.0	油彩・キャンバス	
24	後藤真吉	高崎山	不詳	41.5×53.0	水彩・和紙	橋本祥案氏寄贈
25	江藤純平	斜陽	1941	73.0×91.0	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
26	江藤純平	秋果図	1949頃	36.0×56.0	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
27	佐藤 敬	肖像A	1946	73.0×53.0	油彩・キャンバス	
28	佐藤 敬	Ado in Beppu	1946	60.6×45.5	油彩・キャンバス	
29	佐藤 敬	枯葉	1946	73.0×53.0	油彩・キャンバス	
30	佐藤 敬	眞弓	1947頃	40.0×31.0	油彩・キャンバス	
31	佐藤 敬	美子	1950頃	22.0×22.0	インク、パステル・紙	
32	佐藤 敬	眞弓	1947頃	24.5×16.5	水彩、墨・紙	
33	糸園和三郎	鳥の壁	1963	72.7×60.6	油彩・キャンバス	
34	糸園和三郎	二本の木	1965	62.0×53.0	油彩・キャンバス	
35	仲町謙吉	きものの女	1961	162.1×130.3	油彩・キャンバス	
36	熊井 惇	扇持つ少女	1951	116.7×91.0	油彩・キャンバス	熊井恭子氏寄贈
37	熊井 惇	楽暫閑	1948	91.0×116.7	油彩・キャンバス	熊井恭子氏寄贈
38	広瀬通秀	みのり(B)	1949	116.7×90.9	油彩・キャンバス	個人蔵
39	岩尾秀樹	街(赤い建物)	1951	90.9×116.7	油彩・キャンバス	個人蔵
40	多邨 常	酢屋の坂	1989	163.0×112.5	油彩・キャンバス	多村裕子氏寄贈
41	多邨 常	朝陽	1993	130.5×162.0	油彩・キャンバス	多村裕子氏寄贈

■常設展示室4 竹工芸

テーマ展示 竹の表現

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・素材	備考
1	生野祥雲齋	波紋	1965頃	78.0×138.8×7.4	竹、籐	
2	生野祥雲齋	白竹投入華籃	1965頃	高41.0 径16.5	竹	
3	此君亭工房	竹干菓子盆	1974	15.3×13.2	竹	
4	生野祥雲齋	はなころも	1965頃	高28.3 径9.0	竹	
5	此君亭工房	七宝紋こっふう受	昭和後期	高1.5 径6.8	竹、籐	
6	生野祥雲齋	白竹水月吊花籃	1961頃	高21.0 42.0 ×15.0	竹、籐	
7	生野徳三	白竹の籠「海宇」	1998	高26.0 径54.0	竹、籐	
8	生野祥雲齋	手付果物籃	1956頃	高22.0 34.5 ×20.7	竹、籐	
9	生野祥雲齋	無双編盛籃	1963	高9.0 径30.0	竹	

3. 2. 3. 第3期常設展

平成22年1月13日（火）～4月18日（日）

（常設展示室2 前期：2月21日（日）まで・後期：2月23日（火）から）

■常設展示室1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ展示 大画面への挑戦

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	岩澤重夫	由布岳	不詳	65.0×91.0	紙本着色	
2	福田平八郎	池辺游魚	1923頃	140.5×41.5	絹本着色	
3	福田平八郎	藪椿に鶯	1936	27.0×69.0	紙本着色	
4	福田平八郎	真鯉	1943頃	43.2×87.2	絹本着色	寄託品
5	福田平八郎	紅梅	1941頃	54.5×39.2	紙本着色	
6	福田平八郎	紅白梅	1940代後半	31.5×48.5	紙本着色	
7	福田平八郎	桃	1947～50頃	32.0×42.2	紙本着色	
8	福田平八郎	鮎	1950	42.0×56.0	絹本着色	
9	高山辰雄	筍	1947	44.1×51.5	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
10	高山辰雄	黒い服の少女	1948	57.5×53.5	絹本着色	
11	高山辰雄	襟巻	1949	51.2×59.0	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
12	高山辰雄	青い空	1957	41.2×57.9	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
13	高山辰雄	雪	1954	66.0×87.5	絹本着色	
14	高山辰雄	突りの時	1950代後半	41.0×59.2	紙本着色	
15	高山辰雄	道	1961	45.5×60.6	紙本着色	
16	高山辰雄愛用遺品 スケッチブック等					高山由紀子氏寄贈
17	高山辰雄	朱樂	1952	40.1×57.1	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
18	高山辰雄	山の音	1962	60.5×92.4	紙本着色	
19	岩澤重夫	郷	1987	191.0×180.0	紙本着色	
20	岩澤重夫	響	1988	191.0×168.0	紙本着色	
21	岩澤重夫	清秋	1999	200.0×175.0	紙本着色	岩澤重夫氏寄贈
22	岩澤重夫	輝やく峰	1998	220.0×145.0	紙本着色	
23	伊藤深游木	流れる	1991	220.0×161.0	紙本着色	
24	平山郁夫	緑韻富貴寺	1997	169.2×361.6	紙本着色	～4月5日(月)まで
24	伊藤彰耳	怡色	1995	180.0×360.0	紙本着色	4月7日(水)～
25	荒井 孝	懸空寺	1985	168.5×214.5	紙本着色	
26	正井和行	憶昔	1992	65.2×90.9	紙本着色	正井和行氏寄贈
27	箱崎睦昌	桜島	1988	210.0×560.0	紙本着色	
28	森田曠平	立木観世音	1988	205.0×250.0	紙本着色	
29	中野嘉之	奥入瀬- (霜月)	1991	各175.8× 352.0	紙本着色	
30	畠中光享	林住禅定	2003	171.5×464.0	絹本墨画・裏箔	
31	下保 昭	知床染雨	1997	各168.0× 372.0	紙本着色	
32	宮崎喜恵	磨崖の佛さん	1999	160.5×110.5	画布着色	
33	首藤詔子	絵巻に偲ぶ	1985	162.1×130.3	紙本着色	首藤詔子氏寄贈

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ展示 田能村竹田

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	作者不詳	田能村竹田像	不詳	24.0×18.4	絹本淡彩	
2	田能村竹田	書（端歌）	不詳	43.0×18.5	紙本墨書	
3	田能村竹田	梅花図（花卉図六幅対の内）	1808	115.7×38.8	紙本墨画淡彩	重要文化財
4	田能村竹田	四時花鳥図（四幅対の内冬図）	1809	130.2×60.7	絹本着色	重要文化財
5	田能村竹田	疎林溪閣図	1821	128.5×46.0	紙本墨画淡彩	
6	田能村竹田	鍾馗図	1822	97.0×27.3	紙本墨画淡彩	
7	田能村竹田	伏水望京図	1823	107.2×26.4	紙本墨画	
8	田能村竹田	梅花書屋図及題詩（対幅）	1824	各112.5×30.5	紙本墨画淡彩・紙本墨書	重要文化財
9	田能村竹田	松鶴図（四面）	1828頃	各51.7×44.6	絹本着色	重要文化財
10	田能村竹田	暗香疎影図	1831	136.0×57.0	紙本墨画淡彩	重要文化財
11	田能村竹田	白衣大士図	1830～32頃	91.7×25.5	紙本墨画淡彩	
12	田能村竹田	西行法師図	1832頃	91.6×24.3	紙本墨画	
13	田能村竹田	澗道石門図	1834	154.0×66.6	絹本着色	重要文化財
14	田能村竹田	秋溪趁約図	1834	154.0×66.6	紙本墨画淡彩	重要文化財
15	田能村竹田	漁樵問答図	1834	128.5×50.3	絹本淡彩	重要文化財
16	田能村竹田	浄土寺図	1834	19.2×35.8	紙本淡彩	重要文化財
17	田能村竹田	盆卉図	1833	29.3×30.8	紙本墨画淡彩	重要文化財
18	田能村竹田	騎馬武者図	江戸時代後期	38.5×29.0	紙本淡彩	重要文化財
19	田能村竹田他	五言古詩	1831	98.7×51.3	紙本墨書	重要文化財
20	田能村竹田 末広雲華	対聯（対幅）	1832	各111.7×13.0	紙本墨書	重要文化財
21	伝田能村竹田	蝶図	不詳	20.2×26.3	絹本墨画	
22	田能村竹田・他	書簡集	1835・他	（縦）16.2	紙本墨書	寄託品

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ展示 屏風絵

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	作者不詳	洛中洛外図屏風	1640頃	各108.5×273.0	紙本金地着色	
2	狩野永伯	松竹梅に鶴図屏風	江戸時代後期	各171.5×379.4	紙本金地着色	帆足市太氏寄贈
3	作者不詳	源平合戦図屏風	江戸時代後期	159.3×374.2	紙本着色	帆足市太氏寄贈
4	田能村竹田	月下芦雁図	1823	149.7×330.4	紙本墨画	重要文化財
5	帆足杏雨	松竹梅書画貼交屏風	1864	141.6×326.6	紙本墨画・紙本墨書	帆足市太氏寄贈

■常設展示室3 近代・現代の洋画

テーマ展示 海外へ旅立った作家たち—佐藤敬を中心に—

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	藤島武二	大洗海岸	1931	73.0×91.0	油彩・キャンバス	
2	藤田嗣治	佐藤敬・美子	1944頃	18.5×21.5	紙本淡彩	
3	佐藤 敬	Notre Dame du Paris	1932	54.0×64.0	油彩・キャンバス	
4	佐藤 敬	暁	1940	130.5×193.6	油彩・キャンバス	
5	佐藤 敬	三人の家族	1940	145.5×112.1	油彩・キャンバス	
6	佐藤 敬	少女半身	1940	72.5×53.1	油彩・キャンバス	
7	佐藤 敬	雨期来る (マニラ)	1942	31.0×41.0	油彩・キャンバス	
8	佐藤 敬	印度少女	1943	72.5×53.2	油彩・キャンバス	岸井眞弓氏寄贈
9	佐藤 敬	セーヌの橋	1947頃	41.0×32.0	油彩・キャンバス	
10	佐藤 敬	裸婦	1952	73.0×91.0	油彩・キャンバス	
11	佐藤 敬	オテル・ド・ヴィル (巴里)	1956	32.0×41.0	グワッシュ、パステル・紙	
12	佐藤 敬	罨	1961	92.0×73.0	油彩・キャンバス	
13	佐藤 敬	石の花	1960	59.4×29.3	油彩・キャンバス	
14	川端 実	門のイメージ 緑	1989	213.5×168.0	アクリル・キャンバス	
15	菅井 汲	SIGNAL DU CIEL (空の標識)	1971	175.0×142.0	アクリル・キャンバス	
16	菅井 汲	寒流	1963	130.0×162.0	油彩・キャンバス	
17	菅井 汲	パーキングB	1969	250.0×200.0	油彩・キャンバス	
18	田淵安一	隠された樹	1981	200.0×200.0	油彩・キャンバス	
19	今井俊満	シメール	1959	130.0×191.0	油彩・キャンバス	
20	河原 温	印刷絵画—黒人兵植民地の怒り	1958	76.4×51.8	印画紙	
21	河原 温	印刷絵画—No.1 絵画と人間	1959	52.3×47.4	印画紙	
22	河原 温	印刷絵画—No.2 入れ墨	1959	52.3×47.5	印画紙	
23	草間弥生	ACCRETION (No.3)	1964	110.0×70.0	コラージュ	
24	草間弥生	生命への畏敬	1989	194.0×390.0	アクリル・キャンバス	
25	荒川修作	OUT OF WHICH	1979	76.6×122.5	リトグラフ・シルクスクリーン・空押し・紙	寄託品
26	鬮嘔	レインボーレイン	1976	192.0×259.0	アクリル・キャンバス	
34	南 聡	潮	1996	180.0×360.0	紙本着色	
35	鈴木忠実	飛翔	1993	162.1×262.0	紙本着色	
36	倉島重友	野の調	1989	182.0×227.0	紙本着色	

37	釘宮對岩	雪原の王者	1985	247.0×117.0	紙本墨画	
38	池田栄広	船出前	1986	176.0×221.0	紙本着色	
39	村田茂樹	樹間	1993	165.0×504.0	紙本着色	

■常設展示室4 竹工芸

テーマ展示 祥雲斎と弟子たち

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	本田脚雲斎	篠竹荒編花籠「草垣」	1988	高25.0 径23.5	竹	
2	下田和泉	風炉先屏風「重ね菱」	1990頃	39.0×186.0× 4.5	竹、木	
3	生野祥雲斎	怒涛	1960	53.0×53.0× 73.0	竹、籐	
4	生野徳三	白竹の籠「海宇」	1998	高26.0 径54.0	竹、籐	第30回日展特選
5	田辺幸竹斎	櫛目組竹飾籠「宴」	2003	高43.0 径36.6	竹、籐	
6	安倍基楽	手付矢筈文盛籃「翼揚」	2002	高27.0 34.5 ×36.2	竹、籐	第37回西部工芸展 入賞
7	山口龍雲	花車	2002	高32.0 径53.0	竹、籐	

3.2.4. 常時展示作品

4つの常設展示室のほか、館内・館外の各所に彫刻などの作品を常時展示した。

NO.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	場所
1	熊井恭子	風の道・水の道	2001	1200×660×560	ステンレス・スチール線	常設棟1・2F
2	田中信太郎	風の吹く場所	1992-93	193×361×16	強化プラスチック	常設棟1F
3	今井俊満	鯉のぼり-大分-	1987	200×1000	アクリル・キャンバス	常設展示室3
4	朝倉響子	Ashley (アシュリー)	2001	163×70×46	ブロンズ	エントランスホール
5	村井進吾	FORM-IV	1992	153×160×159	黒御影石	1F中庭
6	風倉 匠	陰陽学	2000	120×250×120	アルミ合金	企画棟屋上
7	剣持和夫	宇奈月	1993	30×30×800	ブロンズ	企画棟屋外
8	井上一朗	L-MOTION	2000	303×270×210	アルミニウム	企画棟屋外
9	安藤 泉	遊星散歩	1999	660×665×240	純銅板、鍛金	芝生広場
10	原口典之	重力	2003	79×286×800	厚鋼板・コンクリート	芝生広場
11	佐脇健一	BOLT DOG	2000	大 73×118×20 他	鉄	チャイルドハウス周辺
12	青木野枝	荒玉	2002	430×390×1740	鉄	散策路
13	朝倉文夫	あこがれ	1958	58×41×40	ブロンズ	企画棟ホワイエ
14	合田習一	WORK' 86-10	1986	182×27×24	木、石、銅線	常設棟1F
15	相武常雄	トルソ1	1995	161.5×95×41	銅	常設棟1F
16	相武常雄	トルソ2	1995	95×161.5×42	銅	常設棟1F

3. 3. サマー企画

3. 3. 1. アート・ワンダーランド2009「おおいた あーと選手権」

概 要 アート・ワンダーランドは、美術館所蔵作品の中から、特に子どもに見せたい作品を選定し、わかりやすい解説やワークシート等を手がかりに美術鑑賞について興味・関心を持たせることを目的とした展覧会である。本年度は、地元大分が生んだ画家たちの名前や作品を知るとともに、大分の美術の流れを把握しながら、作品と対話し、新しい世界に触れてもらうことを目指した。

会 期 平成21年7月14日（火）～9月23日（水）

後 援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、OCT 大分ケーブルテレコム

出品点数 83点

観覧者数 21,889人

観覧料 一般300（250）円／高大生200（150）円、中学生以下無料
※（ ）内は20人以上の団体料金

関連行事 ■普及プログラム：技をぬすもう

日 時 7月26日（日）11：00～12：00 13：30～14：30

講 師 県立芸術緑丘高校 汐月 顕氏（洋画）

観覧者 のべ168人

日 時 8月9日（日）11：00～12：00 13：30～14：30

講 師 安倍 基氏（竹工芸）

観覧者 のべ158人

日 時 8月23日（日）11：00～12：00 13：30～14：30

講 師 県美協常任委員 宮崎喜恵氏、日本画友の会の皆さん

観覧者 のべ296人

印刷物 ・ワークシートA3二つ折り 小学校低学年用16,000部、高学年16,000部、中学生用17,000部

関連記事 「アート・ワンダーランド」『大分合同新聞』夕刊 7月16日

（担当 嶋田）

目録

常設展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年代	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	福田平八郎	水蜜桃	1950頃	31.0×42.1	紙本着色	
2	福田平八郎	桃	1947-50頃	32.0×42.2	紙本着色	
3	福田平八郎	白梅	不詳	26.3×23.4	紙本着色	
4	福田平八郎	紅蔦	不詳	106.0×27.0	紙本着色	
5	福田平八郎	鳳仙花	1947	31.0×43.0	紙本着色	
6	福田平八郎	紅葉	1950頃	50.0×67.4	絹本着色	
7	福田平八郎	池辺游魚	1923頃	140.5×41.5	絹本着色	
8	福田平八郎	白梅眼白	1940頃	45.0×65.0	紙本着色	9月15日まで展示
※	福田平八郎	鮎	1950	42.0×56.0	絹本着色	9月16日から展示
9	福田平八郎	藪椿に鶯	1936	27.0×69.0	紙本着色	
10	福田平八郎	雉子	1938	134.0×42.2	絹本着色	ワークシート作品
11	福田平八郎	白梅鶯	不詳	130.7×30.8	紙本着色	
12	福田平八郎	鯉	1943頃	48.0×72.0	絹本着色	
13	福田平八郎	黄鶺鴒	1950代	29.5×42.3	紙本着色	個人蔵
14	福田平八郎	暖冬	1950代	46.3×66.8	絹本着色	個人蔵
15	福田平八郎	静物	1917	縦23.0×上弦 53.5×下弦26.8	紙本着色	
16	福田平八郎	菓子	1948頃	27.0×24.0	紙本着色	
17	高山辰雄	豊山豊水	1985	35.0×65.0	紙本着色	ワークシート作品
18	高山辰雄	黒い服の少女	1948	57.5×53.5	絹本着色	
19	高山辰雄	椅子に	1990	116.0×87.5	絹本着色	9月15日まで展示
※	高山辰雄	子	1950	103.1×75.4	絹本着色	高山辰雄氏寄贈 9月16日から展示
20	高山辰雄	卵	1950頃	27.2×35.9	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
21	高山辰雄	堇とコップ	1956	42.0×59.5	紙本着色	
22	高山辰雄	猫と玉葱	1957	55.6×77.1	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
23	高山辰雄	明けゆく	1958	55.5×76.5	紙本着色	
24	高山辰雄	青の夜	1961頃	38.0×55.0	紙本着色	
25	高山辰雄	道	1961	45.5×60.6	紙本着色	
26	高山辰雄	風景	1955頃	38.4×61.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
27	高山辰雄	燈	1985	211.5×139.5	紙本着色	9月15日まで展示
※	高山辰雄	豊後里道に月を見る	2005	153.8×100.0	紙本金砂子着色	9月16日から展示
28	高山辰雄	雪	1954	66.0×87.5	絹本着色	
29	高山辰雄	雨	2003	200.0×140.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
30	高山辰雄	新雪	1992	224.0×160.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
31	佐藤敬	暁	1940	130.5×193.6	油彩・キャンバス	
32	佐藤敬	雪	1938	193.0×124.0	油彩・キャンバス	
33	佐藤敬	独唱	1936	197.0×273.1	油彩・キャンバス	ワークシート作品

No.	作者名	作品名	制作年代	寸法 (cm)	素材・技法	備考
34	佐藤敬	月	1938	194.0×130.0	油彩・キャンバス	
35	佐藤敬	水の姿勢	1937	195.0×265.0	油彩・キャンバス	
36	佐藤敬	制作	1936	197.0×265.0	油彩・キャンバス	
37	佐藤敬	水災について	1939	197.0×268.0	油彩・キャンバス	
38	佐藤敬	ピアノと子供	1951	130.0×162.0	油彩・キャンバス	
39	佐藤敬	浴場	1951	130.0×160.0	油彩・キャンバス	
40	佐藤敬	LE DANS	1950	218.2×290.9	油彩・キャンバス	
41	ピカソ	女の顔	1952頃	高53.0径27.0	陶器	寄託品

常設展示室 2

No.	作者名	作品名	制作年代	寸法 (cm)	素材・技法	備考
42	田能村竹田	富士図	1819	127.0×42.0	絹本着色	8月18日まで展示
43	田能村竹田	漁樵問答図	1834	92.6×30.8	絹本淡彩	8月18日まで展示
※	田能村竹田	白鶴 図(二幅対)	1822	各164.3×41.5	絹本着色	8月19日から展示
44	帆足杏雨	月下竹梅図襖(四面)	江戸後期～明治初期	各173.5×72.3	紙本墨画金砂子	
45	帆足杏雨	李青蓮詩意山水図	1854	154.9×57.2	絹本墨画淡彩	8月18日まで展示
46	帆足杏雨	秋水野航図	1837頃	152.2×52.0	紙本墨画淡彩	8月18日まで展示
47	帆足杏雨	雪溪吟鞭図	1837頃	143.3×52.1	紙本墨画淡彩	8月18日まで展示
※	帆足杏雨	梅花山茶花群雀図	江戸後期	147.2×57.1	紙本墨画着色	8月19日から展示
※	帆足杏雨	風雨赴約図	1837頃	143.1×51.7	絹本墨画淡彩	8月19日から展示
※	帆足杏雨	巴峽蜀船図	1837頃	143.1×51.7	紙本墨画淡彩	8月19日から展示
48	加納雨篷	淡彩山水図	1925	155.8×36.2	絹本墨画淡彩	
49	甲斐虎山	富岳瑞雲図	不詳	181.1×94.8	紙本着色	
50	田近竹邨	端午節句図屏風	1895	179.2×364.8	紙本墨画淡彩	
51	牧皎堂	鶴	不詳	111.0×40.6	絹本着色	
52	高倉観崖	遠山秋雨	1927	145.0×51.0	絹本着色	
53	幸松春浦	竹雀図	1929	各170.0×370.0	紙本銀地淡彩	六曲一双

常設展示室 3

No.	作者名	作品名	制作年代	寸法 (cm)	素材・技法	備考
54	佐藤敬	グワッシュ' 62	1962	24.0×31.0	グワッシュ・紙	
55	佐藤敬	空間の歴史(黒)	1965	162.3×130.2	油彩・キャンバス	
56	佐藤敬	夜は漂う	1963	53.0×65.0	油彩・キャンバス	
57	佐藤敬	凝結波	1966	195.0×130.0	油彩・キャンバス	
58	佐藤敬	空間の通力	1973	116.0×179.0	油彩・キャンバス	
59	佐藤敬	青のグワッシュ	1972	13.5×30.0	グワッシュ・紙	
60	佐藤敬	グワッシュ	1973	24.0×32.5	グワッシュ・紙	
61	佐藤敬	Gouache' 73	1973	24.0×31.5	グワッシュ・紙	
62	佐藤敬	墨彩	1978	48.0×28.0	グワッシュ、墨・紙	
63	佐藤敬	遙かなる時間	1978	51.0×33.0	グワッシュ、墨・紙	
64	佐藤敬	墨彩	1978	24.0×33.0	グワッシュ、墨・紙	

No.	作者名	作品名	制作年代	寸法 (cm)	素材・技法	備考
65	権藤種男	高崎山遠望	1950頃	27.0×38.0	油彩・キャンバス	
66	仲町謙吉	秋深し	2005	89.4×145.5	油彩・キャンバス	
67	仲町謙吉	咩	1992	116.7×91.0	油彩・キャンバス	
68	脇正人	家	1958	80.3×116.7	油彩・キャンバス	
69	脇正人	コンポジションB	1986	145.5×112.1	油彩・キャンバス	
70	広瀬通秀	モニュメント	1980	181.8 ×227.3	油彩・キャンバス	
71	吉村益信	CUT SEA	1973	72.8×100.0	油彩・キャンバス	
72	吉村益信	CUT SEA 3	1973-74	96.0×130.3	油彩・キャンバス	
73	脇坂秀樹	船がある	1965	97.0×162.0	油彩・キャンバス	
74	脇坂秀樹	残象	1964	130.0×162.0	油彩・キャンバス	
75	飯尾寿夫	植物 II	1972	162.0×130.0	油彩・キャンバス	

常設展示室 4

No.	作者名	作品名	制作年代	寸法 (cm)	素材・技法	備考
76	生野祥雲斎	白竹通筒華入	1955頃	高50.0 径6.3	真竹、籐	
77	生野祥雲斎	花衣華入	1965頃	高28.8 径8.6	真竹	
78	生野祥雲斎	紫竹盛華籃	1965頃	27.2×62.0× 30.0	黒竹	
79	生野祥雲斎	輪花永芳盛籃	1944	高14.0 径39.0	煤竹、籐	
80	生野徳三	水煙	2001	高55.5 径37.0	真竹、籐	
81	安倍基	盛籃「翼揚」	2002	27.0×34.5× 36.2	真竹、籐	
82	田辺信幸	篠竹つぶし花籠 「蹲」	2001	高34.0 径50.0	篠竹	
83	山口明	花車	2002	高32.0 径53.0	真竹、籐	

4. 教育普及事業

4. 1. ハイビジョンシステム

美術品の色や質感をより忠実に再現するハイビジョンを用い、所蔵品に関する静止画や動画番組等の美術情報を提供している。

4. 1. 1. ハイビジョン番組

■オリジナル静止画(ホール、ギャラリーI)

1	富春館の世界一帆足家をめぐると作品一	10分
2	水に描かれた福田平八郎の世界	7分
3	祥雲齋に見いだされた竹の造形美	7分
4	日本画 高山辰雄の世界一その作品と歩み一	6分
5	抽象絵画への招待	9分
6	大分の美術・日本画	8分
7	大分の美術・洋画	8分
8	浜田知明一眼に見えぬ鉄格子の中で一	6分
9	田能村竹田『桃花流水図』を読む	7分
10	ふるさとの風景・大分	7分
11	四季の趣 江戸絵画に見る	7分
12	写実と装飾の間で一福田平八郎一	7分
13	加納光於 版画の世界	7分

■オリジナル動画(ホール)

1	風光り水澄む郷・大分 高山辰雄画伯のふるさと	15分
2	1994 高山辰雄	30分
3	投華 密教に入る	15分
4	見えない鏡一洋画家・糸園和三郎の世界一	15分
5	竹をきわめる一生野祥雲齋一	15分
6	わが故郷・大分 日本画家 高山辰雄	19分

■静止画(ホール、ギャラリーII)

◎ハイビジョン美術館「美術のたのしみ」(各6分)

1	ひとの顔	6	いきものの姿
2	ひとのかたち	7	ものがたり
3	人々の暮し	8	木と草花
4	踊るひと	9	幻想 ファンタジー
5	暮らしの中の静物	10	いろとかたちのリズム

◎エルミタージュ美術館 I (各 6 分)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 華麗なる美の殿堂 | 6 イタリア・ルネサンスの精華 |
| 2 バロックの巨匠 レンブラント | 7 ヴェネツィアのルネサンス |
| 3 レンブラント 肖像画の世界 | 8 自然をみつめて |
| 4 レンブラント 聖書の世界 | —コロローとバルビゾン派 |
| 5 ルネサンスの幕開け | 9 光と色彩の画家 モネ |
| | 10 印象派の人物画 |
| | —ルノワールと仲間たち |

◎エルミタージュ美術館 II (各 6 分)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1 フランドル絵画の黄金期—
ルーベンスと弟子たち | 6 近代絵画の父 セザンヌ |
| | 7 楽園を求めて—ゴッホと
ゴッホ |
| 2 フランスの古典 プッサンとロラン | 8 パリの世紀末—ナビ派 |
| 3 市民絵画の誕生—17 世紀オランダ絵画 | 9 色彩への情熱—フォーブの画家 |
| 4 スペイン絵画の光と影 | 10 世紀の巨匠—ピカソ |
| 5 雅の極地—ロココ絵画 | |

◎オルセー美術館 I (各 7 分)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 印象派の殿堂 オルセー美術館 | 6 動きへの探究 ドガと踊り子たち |
| 2 リアリズムの巨匠 クールベ | 7 ヴァン・ゴッホ 炎の生涯 |
| 3 大地への讃歌 ミレー | 8 20 世紀芸術への架け橋 |
| 4 セーヌの光に魅せられて モネ | —ポンタヴェン派からナビ派へ |
| 5 光と大地の叙事詩 シスレーとピサロ | 9 20 世紀絵画の父 セザンヌ |

◎フィレンツェ・ルネサンス I (各 7~8 分)

- 1 ルネサンスの光と影 花の都フィレンツェ
- 2 フィレンツェの大きな屋根 建築家ブルネレスキの創造
- 3 ルネサンスへの扉 洗礼堂をめぐるコンクール
- 4 革新の波 ジョットからマザッチオへ
- 5 ルネサンスの遺産 ウフィッツィ美術館 I
- 6 ボッティチェリの春 ウフィッツィ美術館 II
- 7 フィレンツェの花形画家 ボッティチェリ
- 8 魂を刻みつづけて ミケランジェロ

◎シカゴ美術館コレクション名作選 浮世絵 19 世紀と 20 世紀の美術

- | | |
|---------------------------|------|
| 1 浮世絵 春信・歌麿・写楽 | 9 分 |
| 2 浮世絵 北斎・広重 | 8 分 |
| 3 新しい自然の発見 —ロマン派からバルビゾン派へ | 10 分 |

4	光の讃歌～フランス印象派の華	11分
5	光と闇から後期印象派の精髓	14分
6	20世紀美術の曙	15分
7	アメリカ美術のメッセージ	13分

◎ 日本美術の至宝 日本の巨匠たち (各9～12分)

1	雪舟	6	池 大雅
2	狩野 永徳	7	与謝 蕪村
3	長谷川 等伯	8	浦上 玉堂
4	俵屋 宗達	9	円山 応挙
5	尾形 光琳	10	伊藤 若冲

4. 1. 2. ハイビジョンデータベース

タッチペンで所蔵品を検索でき、子どもから大人まで広く利用。作品のデータは、作家名・ジャンル・制作年代・出身地・おすすめ作品の5つのメニューから検索でき、作品の全図・拡大画像・作品解説・作家解説・用語解説などを画面上に呼び出すことができる。

4. 1. 3. 公開データベース数

719作品 洋画(油彩、水彩) 124/日本画 235/現代美術 60/文人画(豊後南画) 112/
版画 99/工芸 39/彫刻 25/その他 25

4. 1. 4. ハイビジョン静止画工房

画像に文字情報や音声などを加えて編集し、番組を制作することができる。

4. 2. ハイビジョンシアター

展覧会に関するVTR等の上映を行った。

上映日時：毎週土・日・祝日 1日に3回【午前11時、午後1時、3時より】上映

場 所：ハイビジョンホール

料 金：無料

内容(上映ソフト)：世界の美術館や大分市ゆかりの作家に関する番組及び、大分市美術館制作オリジナル番組の中から、展覧会に合わせて選んだ4～5本の番組を、各回ごとに約40分上映。

4. 3. 芸術・文化に親しむ講座

ハイビジョンホール等の利用を進める中で、市民の生涯学習の場として、「芸術・文化に親しむ講座」を開講した。

	講座名	期日・場所	内容・講師	人数
1	ニットカフェat 美術館	12月5日 午後1時30分～午後4時30分 研修室	編み物実技とティータイム 講師：石井亜季氏	23
2	体験！ボディ・ パーカッション	1月9日 午後1時30分～午後3時30分 研修室	身体を叩いて音楽的表現能力 を養う 講師：山田俊之氏	29

4. 4. 実技講座

広く芸術・文化に親しむ場として、高い技術を持った地域の専門家の指導による実技講座を開講した。

No.	講座名	期日・場所	内容・講師	人数
1	色えんぴつ画入門	10月1日・3日 午後1時30分～午後4時30分 研修室	色えんぴつ画実技 講師：丸小野由美氏	19・19
2	水墨画入門	11月26日・27日 午前10時30分～午後3時30分 研修室	水墨画実技 講師：詫間夢鳳氏	15・15

4. 5. アートカレッジ

一般市民を対象に、美術への関心を深めてもらうために2コース実施した。

No.	開催日	講座名	展覧会解説	人数
1	5月14日	「天保期の田能村竹田」 講師：宗像健一学芸顧問	人間とは一探求する版画家 浜田知明展（長田主幹）	35
2	6月4日		飯尾寿夫展（大神学芸員）	36
3	7月2日		脇坂秀樹展（大神学芸員）	35
4	9月17日	「展覧会解説と学芸員のつ ておきの話」	日本近代洋画への道（野田学 芸員）	25
5	10月8日		常設展（大神学芸員）	26
6	11月12日		ラウル・デュフィ展（宮崎学 芸員）	22
7	1月19日		巨匠たちのパレット&絵画展 （岩尾学芸員）	23

4. 6. 美術館で音楽会

美術館をより身近に感じてもらうために、市民に自主的な演奏、発表の場を提供した。

No.	開催日	出演者	演奏内容	人数
1	7月18日	高野一男とコンパルの会	クラシックギター	81
2		笠木哲也	クラシックギター	73
3	7月25日	悦声	歌	97
4		戸上和信	フォークギター	48
5	8月1日	桂 悠紀	マリンバ	76
6		尚美café	アコーディオン	71
7	8月8日	Showers	フォークギター	62
8		橋本りさ	フルート	84
9	8月15日	新名博臣	フォークギター	64
10		Espressivo	管弦楽五重奏	76
11	8月22日	ロス・ビエルネス	ギター三重奏	93
12		みずぐるま	オカリナ	78
13	8月29日	pick-nic	マンドリン	120
14		ローズ・ウッド	リコーダー	95

4. 7. 教職員講座

教職員対象に、実技講座を実施した。

No.	開催日	時間	講座内容・講師	人数
1	7月31日	午前10時30分～午後0時30分	水墨画実技 大分県水墨画協会会長 詫間夢鳳氏	12
2	7月31日	午後2時～午後4時		6

4. 8. 子ども講座

「たのしんで・みて・まなぶ」というキャッチフレーズのもと、親子で美術館に親しんでもらうことを目的に、児童・生徒を対象とした制作・鑑賞の講座を開講した。

4. 8. 1 GW子ども講座

講座名	開催日・時間	内容等	人数
「染めてみよう!」	5月2日・3日 午前10時30分～午後3時30分 [全2回]	展覧会観覧と藍染め 講師：美術館職員 美術館 ボランティア「こもれ美」	63

4. 8. 2 夏休み子ども講座

No.	講座名	開催日・時間	内容等	人数
1	「楽しい染色」	7月22日・23日・24日 午前10時30分～午後3時30分 [全3回]	展覧会観覧と輪ゴムや割り 箸を使って模様を作る方法 での藍染 講師：美術館職員 美術館 ボランティア「こもれ美」	99
2	「美術館をさぐる」	7月27日・28日・29日 午前10時30分～午後0時30分 午後2時～午後4時 (28日は午前のみ) [全5回]	美術館見学(バックヤード ツアー)及びレポートの作 成 講師：美術館職員 美術館 ボランティア「こもれ美」	220
3	「水墨画を楽しもう」	7月30日 午前10時30分～午後0時30分 午後2時～午後4時 [全2回]	水墨画を描き、色紙掛に掛 けて飾る。 講師：大分県水墨画協会 会長 詫間夢鳳氏	32
4	「夏の音色～風鈴に描く～」	8月4日・5日・7日 午前10時30分～午後0時30分 午後2時～午後4時 [全6回]	展覧会観覧と風鈴の絵つけ 講師：美術館職員 美術館 ボランティア「こもれ美」	344
5	「チャレンジ! そっくりアート」	8月18日・19日・20日 午前10時30分～午後3時30分 [全3回]	展覧会観覧と食べ物などのミ ニチュア制作 講師：美術館職員 美術館ボ ランティア「こもれ美」	178
6	「おもいでを飾ろう」	8月24日・25日・26日 午前10時30分～午後3時30分 [全3回]	展覧会観覧とスクラップ ブッキング(持参した写真 を貼り、飾りをつける)の 制作 講師：美術館職員 美術館 ボランティア「こもれ美」	85

4. 9. ファミリーアートクラブ

概要 美術に対する子どもの興味・関心を高めるとともに、親子で美術館に親しんでもらうことを目的として、展覧会の観覧と制作を行う講座(4回連続)を実施した。

No.	開催日・時間	観覧した展覧会	制作の内容	人数
1	10月17日 午前10時～ 午後3時30分	日本近代洋画への道 ～山岡コレクション を中心に～	アートな生活～オリジナルマイバ ックの制作 ・オリエンテーション ・ステンシル技法で布カバンにロ ゴや模様をいれる。	24
2	11月14日 午前10時～ 午後3時30分	ラウル・デュフィ展	作って健康!～布ぞうりの制作～ ・ハンガー、ロープ、フリースを 使って、布ぞうりを編む。	20
3	12月12日 午前10時～ 午後3時30分	大分大学の学生との 交流会(クリスマス 会)	季節を感じて～クリスマスリス の制作～ ・オーナメント(飾り)を作り、リ ースを飾る。	22
4	2月6日 午前10時～ 午後3時30分	巨匠たちのパレット & 絵画展～新たな魅 力と素顔～	一緒に作ろう! ～共同制作のたのしみ～ ・切り絵(各国の模様) ・修了式	21

4. 10. 美術館出前教室

所蔵作品鑑賞の機会をより多く提供するために、市内小中学校において「出前教室」を実施した。

【コース】

■郷土作家と表現技法を知るコース

日本画 福田・高山コース

- ・わが国を代表する福田平八郎、高山辰雄について知る
- ・福田、高山の作品鑑賞
- ・日本画の用具、材料の話

南画 竹田・杏雨コース

- ・南画の大家、田能村竹田、帆足杏雨について知る
- ・作品の見方について
- ・掛け軸の扱い方について

洋画 佐藤敬コース

- ・大分市出身の国際的洋画家、佐藤敬について知る
- ・佐藤敬の作品鑑賞
- ・油絵の用具、材料の話

■ミニ展覧会コース

- ・大分市出身美術家を主に、1～7点の作品を展示し、各美術家の活動の状況や作品・技法などについて理解を深めてもらう。

■対話型鑑賞コース

- ・美術館所蔵作品、または印刷物やスライドなどを使い、ひとつの作品を材料に児童生徒と先生、美術館職員が対話しながら鑑賞する。

■実施状況

No.	開催日	学校	内容	人数
1	6月24日	舞鶴小学校5年生	福田・高山コース	72
2	7月1日	賀来小中学校9年生	福田・高山コース	68
3	11月25日	横瀬小学校6年生	インフルエンザのため中止	—
4	12月3日	木佐上小学校4～6年生	ミニ展覧会コース	19
5	1月14日	長浜小学校5・6年生	福田・高山コース	72
6	1月28日	中島小学校4年生	対話型鑑賞コース	45

4. 11. 職場体験

学校からの要請に応え、監視体験、学芸員体験など職場体験の場を提供した。

No.	受入日	学校	人数
1	7月2日	大分東高校初任者研修テーマ別研修	1
2	8月6日～7日	別府羽室台高校10年教職員経験研修	1
3	8月19日	別府市立青山中学校初任者研修テーマ別研修	1
4	9月10日～11日	坂ノ市中学校	2

4. 12. ボランティア研修講座

大分市美術館では、積極的に教育普及活動の推進を計るため市民による「美術館ボランティア」を設置している。本講座は、本館で活躍中の美術館ボランティアを対象に知識、技能をより高めるとともに、ボランティア相互の交流を目指したものである。

時 間：午後1時30分～午後3時30分

場 所：ハイビジョンホール他

No.	開催日	内容	講師	人数
1	5月28日	仲間づくりワークショップ	美術館職員	登録者 100人
2	6月25日	夏の特別展、常設展レクチャー	美術館職員	
3	9月18日	美術館の市民サービスについて考える	各グループ	
4	11月5日	図工教育における感性育て	元小学校長 安藤由紀子氏	
5	1月21日	AEDのしくみや応急手当について学ぶ	大分市消防局	
6	3月11日	課長講話	美術振興課課長 菅章	

4. 13. ボランティア活動

4つのグループで、下記のような活動を行った。

(1) 資料グループの活動

毎週水曜日、金曜日 午前10時～正午

新聞記事スクラップの整理、作家別資料ファイルの作成・整理、図書整理、パンフ・チラシ整理他

(2) 解説(ギャラリートーク)グループの活動

毎週火曜日 午後1時30分～午後3時30分

- ・常設展でのギャラリートーク(毎週土曜日午後1時30分から)
- ・小中学校の団体対応や子ども講座受講者でのギャラリートーク

(3) ワークショップグループの活動

- ・隔週金曜日、午前10時～午後3時
- ・子ども講座等の指導補助

(4) 普及・運営グループの活動

- ・毎月第1・3火曜日、午前10時30分～正午
- ・講座、展覧会オープニングの受付などに向けての学習及び活動

4. 1 4 おでかけ美術鑑賞会

日頃、美術館で作品鑑賞の機会が少ない市内の福祉施設に入所中の高齢者や、施設のデイサービス利用者及びその施設周辺に居住する高齢者を対象に、美術館から施設に出向き、美術作品を鑑賞し、楽しい時間を過ごしていただくことで、高齢者福祉増進の一助とする目的で実施した。

1) 実施日及び実施施設、参加者数

10月1日(木)	百華苑	54人
10月5日(月)	アルメイダメモリアムホーム	51人
10月7日(水)	寿志の里	33人

2) 鑑賞作品

福田平八郎「紅梅」、高山辰雄「豊山豊水」・「風景」、佐藤敬「セーヌの橋」、江藤純平「石仏」

4. 1 5. 博物館実習

参加者 大分大学福祉科学部博物館講習 実習生9名

期 日 平成21年10月4日、11月14日、12月12日、平成22年2月21日
午後1時～午後5時

内 容 1 日目 「日本近代洋画への道」展について講義聴講（講師 大分大学教育福祉科学部准教授 田中修二氏）、「日本近代洋画への道」展観覧

2 日目 大分大学公開講座聴講（講師 大分大学教育福祉科学部准教授 松田聡氏）、「ラウル・デュフィ」展観覧

3 日目 ファミリー・アートクラブ参加

4 日目 美術館業務について講義聴講、岩尾秀樹展・常設展観覧

4.16. 各種刊行物

各種刊行物

美術館活動への参加、理解をより促進するため、当館の展示、調査・研究、教育普及などの活動に伴うワークシート等の刊行物を発行した。

(1) 展覧会関連

名称	規格	頁数
アート・ワンダーランド、やなせたかし展 ワークシート（小学校低学年用）	A4	4
アート・ワンダーランド、やなせたかし展 ワークシート（小学校高学年用）	A4	4
アート・ワンダーランド、やなせたかし展 ワークシート（中学生用）	A4	4
第44回大分市美術展覧会 目録	A4	10

(2) 定期刊行物等

平成20年度 大分市美術館年報	PDF ファイル	100
-----------------	----------	-----